

ベンチャーチャレンジ職員育成事業 [研究実施の流れ(例)]

4月～7月

政策提案力向上研修

〔公募等による若手・中堅職員20名程度を対象
(同年度の本事業への参加を必須とする)〕

- 1日目 本事業参加に向けたグループ・テーマ(具体的研究内容)選定方法の習得
2日目 { 政策形成の基本知識の習得
(現場での情報収集、現状分析、課題発見・解決、プレゼン等のノウハウの習得)
3日目 { 先進取組事例等を視察し、事業化へのイメージを抱く

共同研究先マッチング支援

多種多様な分野の民間企業と繋がりのあるコンサルタント業者を通じ、申請に必要な連携先を模索する提案者に民間企業等を紹介・斡旋



応募

事業指定・伴走支援(研修センター)

必須になっている現地調査、民間等との連携、事業化を目指しているか等の観点から事業を選定し、事業指定後の伴走支援を実施

研究テーマに応じたグループ活動の開始

「子育て支援研究」の場合

◇専門家派遣支援

社会福祉法人等の福祉の専門家派遣による事業の方向性の確認や先進事例の紹介等のアドバイスから提案事業のブラッシュアップ

◇先進地調査

日本の保育園に相当するプリスクール、ライセンスを得た個人宅で少人数を預かるファミリーチャイルドケアや研修を受けた13歳以上ならベビーシッターとして子供を預かることができるカナダBC州を視察

中間報告会

研究活動の進捗状況を報告するとともに、政策研究支援室長(大学教授)や関係部局職員との意見交換等を実施することにより、今後の研究に役立てる

研究成果報告会

政策研究支援室長(大学教授)や関係部局長の意見を踏まえ、二役(知事・副知事)報告を行う研究グループを選抜

二役報告会

二役、部局長等へ成果報告

重点事業支援

二役報告会において、優秀な提案と評価された研究の事業化に向けた部局との研究を支援

次年度の当初予算要求・事業化へ

8月～
R③
5月

6月

7月

8月～